

長 生 郡 市 広 域 市 町 村 圏 組 合
汚泥再生処理センター建設工事に係る総合評価
審 査 結 果 報 告 書

平成28年1月

長 生 郡 市 広 域 市 町 村 圏 組 合
汚泥再生処理センター建設工事に係る
総 合 評 価 技 術 審 査 会

目 次

1. 工事概要	・ ・ ・ ・ ・ 1
2. 委員の構成	・ ・ ・ ・ ・ 1
3. 優秀提案者選定までの手順	・ ・ ・ ・ ・ 2
4. 審査の経緯	・ ・ ・ ・ ・ 3
5. 審査結果	・ ・ ・ ・ ・ 4
(1)資格審査	・ ・ ・ ・ ・ 4
(2)基礎審査	・ ・ ・ ・ ・ 4
①入札書類の確認	・ ・ ・ ・ ・ 4
②提案内容の確認	・ ・ ・ ・ ・ 4
(3)技術審査	・ ・ ・ ・ ・ 4
①事業提案内容の得点化（技術点数の算出）	・ ・ ・ ・ ・ 4
(4)価格審査	・ ・ ・ ・ ・ 6
①価格評価の得点化（価格点数の算出）	・ ・ ・ ・ ・ 6
(5)総合点数の算出	・ ・ ・ ・ ・ 6
(6)優秀提案の選定	・ ・ ・ ・ ・ 6
5. 審査結果の講評	・ ・ ・ ・ ・ 7

1. 工事概要

(1) 工事名

汚泥再生処理センター建設工事

(2) 工事場所

千葉県長生郡長生村藪塚 1, 115-1

(3) 工事概要

施設の種類	施設規模等
汚泥再生処理センター	処理方式：浄化槽汚泥混入比率の高い脱窒素処理方式 処理能力：97k1/日（し尿 10k1/日、浄化槽汚泥 87k1/日） ※浄化槽汚泥には農集汚泥含む 資 源 化：助燃剤化

(4) 工期

議会議決の日の翌日から平成 30 年 3 月 20 日

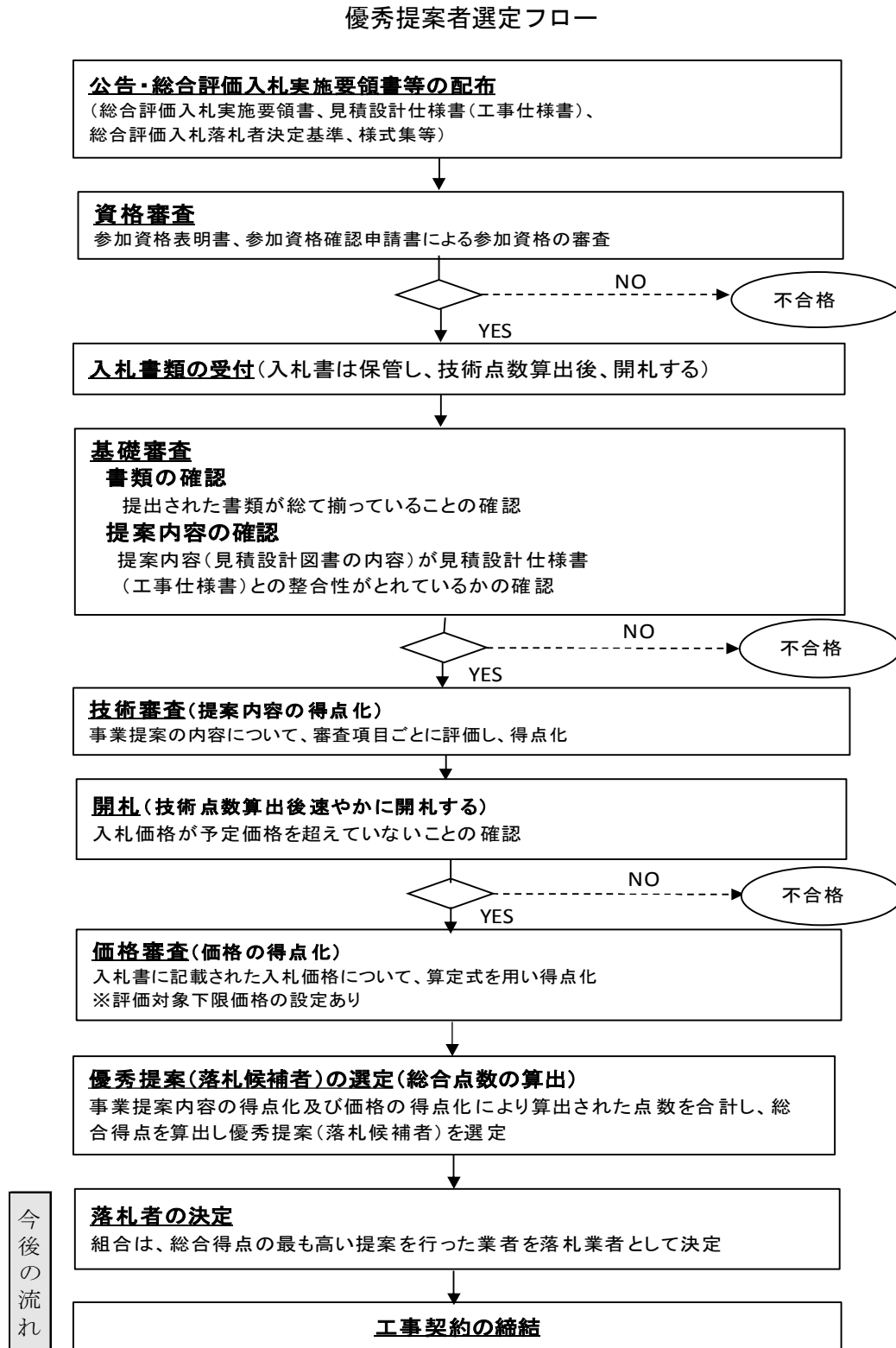
2. 委員の構成

審議及び審査は、公平性及び透明性を確保し、専門的知識に基づく評価を行うことを目的に、学識経験者 2 名を含む、以下 5 名の委員により構成される長生郡市広域市町村圏組合汚泥再生処理センター建設工事に係る総合評価技術審査会（以下「技術審査会」という。）において行った。

委員長	永長 徹	（茂原市副市長）
副委員長	宮崎登身雄	（睦沢町副町長）
委員	瀧 和夫	（千葉工業大学名誉教授）
委員	青井 透	（群馬工業高等専門学校特命教授）
委員	鈴木 均	（長生郡市広域市町村圏組合事務局長）

3. 優秀提案者選定までの手順

入札公告から優秀提案者選定までのフローを以下に示す。



4. 審査の経緯

審査の経過状況を以下に示す。

日 付	内 容
平成27年7月1日(水)	技術審査会（第1回） ○委員長、副委員長の選出 ○事務局による事業概要等の説明 ○入札実施要領、落札者決定基準等の審議
平成27年7月22日(水)	技術審査会（第2回） ○入札実施要領、落札者決定基準等の審議
平成27年8月10日(月)	入札公告（公告第34号）
平成27年8月10日(月)から ～18日(火)まで	入札実施要領書等の配付 入札実施要領書等に関する質問受付（第1回）
平成27年8月26日(水)から ～28日(金)まで	入札実施要領書等に関する質問に対する回答（第1回）
平成27年8月27日(木)から ～28日(金)まで	入札参加表明書及び参加資格確認申請書の受付
平成27年9月7日(月)まで	入札参加者資格確認の結果通知
平成27年9月18日(金)	現地見学会の実施
平成27年9月18日(金)から ～25日(金)まで	参考資料閲覧
平成27年9月25日(金)から ～10月1日(木)まで	入札実施要領書等に関する質問受付（第2回）
平成27年10月13日(火)まで	入札実施要領書等に関する質問に対する回答（第2回）
平成27年11月13日(金)	入札（入札書類の提出）
平成27年12月7日(月)	技術審査会（第3回） ○基礎審査 ・入札書類、提案内容の確認
平成27年12月18日(金)	技術審査会（第4回） ○技術審査（技術点数の算出） ・プレゼンテーション、ヒアリングの実施
平成27年12月21日(月)	開札・価格審査
平成28年1月13日(水)	技術審査会（第5回） ○優秀提案の選定 ○報告書の作成

5. 審査結果

参加者に対する審査の結果は、以下に示すとおりです。

(1) 資格審査

長生郡市広域市町村圏組合（以下、「組合」という。）は、次の参加者が提出した入札参加表明書及び参加資格確認申請書等を審査し、すべての参加者が入札実施要領に記載した入札参加者が満たすべき参加資格要件を満たしていることを確認しました。

なお、技術審査会は参加者すべて匿名の入札参加者番号で表示したもので報告を受け、確認しました。以降、技術審査会の審査においては、優秀提案の選定に至るまで、各参加者の個別企業名を一切伏せた匿名の入札参加番号において審査を行いました。

参加者一覧

入札参加番号	1	2
会 社 名	クボタ環境サービス株式会社	日立造船株式会社

(2) 基礎審査

① 入札書類の確認

入札参加者から提出された入札書類を落札者決定基準に基づいて確認した結果、参加者すべて組合が求めた提出書類が揃っていることを確認しました。

② 提案内容の確認

入札参加者の提案内容について、入札書類全体について、様式集に従った構成になっているか、同一事項に対する2通り以上の提案がないか、提案間のそご、矛盾がないか確認しました。また、提案内容が見積設計仕様書を満たしているか、リスク分担について入札実施要領書で示したリスク分担表と整合しているかどうか確認しました。

(3) 技術審査

① 事業提案内容の得点化（技術点数の算出）

入札参加者から提出された事業提案書に記載された提案内容について、各技術審査会委員が、落札者決定基準に示す評価段階に基づく5段階評価を行い、審査項目（小項目）ごとの配点に評価段階における評価率を乗じ、審査項目（小項目）ごとの平均得点の合計を技術点数としました。

i. 評価段階、評価基準及び評価率

評価段階	評価基準	評価率
A	当該評価項目において、大変優れている	1.0
B	当該評価項目において、やや優れている	0.75
C	当該評価項目において、一定の評価ができる（標準）	0.5
D	当該評価項目において、やや劣っている	0.25
E	当該評価項目において、大変劣っている	0.0

ii. 技術審査の結果

審査項目		配点	入札参加者番号1	入札参加者番号2
大項目	小項目			
設計方針に関する事項	事業方針	3	2.55	2.10
	採用技術の信頼性	3	2.70	1.95
	整備事業の遂行上の独創性	2	1.50	1.30
全体計画に関する事項	建築計画	3	2.55	2.10
	施設配置・レイアウト	3	2.25	2.10
	景観	3	2.70	1.80
	工事計画	2	1.60	1.40
施設の処理・資源化性能に関する事項	処理・資源化システム	3	2.40	1.80
	施設の安全性	3	2.55	1.95
	処理量変動への対応	3	2.25	1.80
	処理対象物の性状変化への対応	3	2.70	2.40
施設の運転・維持管理性能に関する事項	施設の必要とする運転体制	3	2.10	1.80
	運転管理	3	2.25	2.25
	安全・衛生	3	2.40	1.95
	緊急時の対応	3	2.40	1.95
	点検・整備・補修	3	2.10	1.80
	用役量の妥当性	3	1.95	2.25
循環型社会・環境への配慮に関する事項	環境保全対策	3	2.40	1.80
	地球環境への配慮	3	2.55	1.80
	資源化	3	2.55	2.25
経済効果及びリスクに関する事項	建設施設の収支(ランニングコスト等)	8	4.80	6.00
	リスク対応の適切性	2	1.60	1.20
	地域経済への貢献度	2	1.80	1.50
技術点数の合計		70	54.65	47.25

(4) 価格審査

① 価格評価の得点化（価格点数の算出）

入札参加者から提出された入札書に記載された入札価格について、すべて予定価格以下であることを確認した後、落札者決定基準に示す以下の算定式により得点化しました。なお、組合が設定した評価対象下限価格以下の価格は満点（30点）とし、価格点数は小数点以下第2位を四捨五入した値としました。

※ 予定価格（税抜） 3,300,000,000 円

※ 評価対象下限価格（税抜） 2,964,426,000 円

i. 算定式

$$\text{価格点数} = \frac{\text{予定価格} - \text{各応募者の入札価格}}{\text{予定価格} - \text{最低価格}(\text{※})} \times 30 \text{点}$$

※ 最低価格：最低入札価格又は評価対象下限価格のどちらか高い方とする。

ii. 価格審査の結果

	配点	入札参加者番号 1	入札参加者番号 2
入札価格（円）	—	3,030,000,000	2,805,000,000
価格点数	30	24.1	30

(5) 総合点数の算出

入札参加者の「事業提案内容に関する審査」による技術点数と「入札価格に関する審査」による価格点数の合計を総合点数としました。

	配点	入札参加者番号 1	入札参加者番号 2
技術点数	70	54.65	47.25
価格点数	30	24.1	30
総合点数	100	78.75	77.25

(6) 優秀提案の選定

総合点数の最も高い「入札参加者番号 1」を優秀提案者に選定しました。

5. 審査結果の講評

汚泥再生処理センター建設工事は、価格のほか、施設の品質や施工方法等の価格以外の要素を含め総合的に評価し、最も優れた者を落札者とする、総合評価落札方式による業者選定を行うこととなり、技術審査会が設置されました。

その後、本工事の入札公告（平成27年8月10日公告）に対して2者から入札書類が提出され、これらを対象に落札者決定基準に従い審査を行いました。なお、審査過程においては、公正性を確保するため、入札参加者すべて匿名の入札参加者番号で表示したもので報告を受け、優秀提案の選定に至るまで、入札参加者の個別企業名を一切伏せたうえで審査を行うなど配慮をいたしました。

審査過程については、入札書類に対する基礎審査において要件に適合していることを確認のうえ、ヒアリングを行い、技術点数（事業提案内容に関する審査による得点）を算出いたしました。その後、事務局から入札書の開札結果（平成27年12月21日開札）の報告を受け、落札者決定基準に定められた算定式を用いて価格点数（入札価格に関する審査による得点）を算出いたしました。

この結果、技術点数と価格点数を合計した総合点数が最も高かった「入札参加者番号1：クボタ環境サービス株式会社」を優秀提案に選定するに至りました。

得点差の主な理由としては、資源化設備の採用技術や、緊急時対応を考慮した安心感のある維持管理計画の提案、また新システム導入における実証に基づく説明など、提案内容の信頼性が高く評価されたことによるものです。

これらの審査の過程を通じて、いずれの提案も組合が示す見積設計仕様書の要求水準を満たすに留まることなく、各プラントメーカーの高度な技術やノウハウに基づく創意工夫に富む魅力的な提案が見受けられました。このことから、組合初となる総合評価方式の採用は大変意義のあるものであったと思われまます。

優秀提案として選定された「入札参加者番号1：クボタ環境サービス株式会社」には、提案事項について責任を持つと共に、組合による適切な設計・施工監理により汚泥再生処理センターの竣工まで誠実かつ確実な事業を遂行するよう希望します。

最後に、入札公告から入札書類の提出まで約3ヶ月と大変期間の短い中、魅力ある提案をされた入札参加者各位に敬意と感謝を表すと共に、技術審査会の優秀提案の選定を踏まえ、長生郡市の圏域住民にとって有益な都市施設として、汚泥再生処理センターが誕生することを切に願う次第であります。

平成28年1月13日

長生郡市広域市町村圏組合汚泥再生処理センター建設工事に係る
総合評価技術審査会
委員長 永長 徹